

さいたま市文化財時報

# かや 榎りぼーと

第79号

## 「新しい生活様式」と文化財

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの生活に大きな変化をもたらしました。文化財の公開の場となっていた様々な行事も、中止や縮小を余儀なくされました。公開や練習が少なくなり、地域の文化財の継承の危機が加速する恐れがあります。

文化財公開の機会が少なくなる中で、みなさまに少しでも地域の文化財に触れていただくため、新たなウェブコンテンツを作成いたしました。また、秋季からは、感染拡大を予防しながら、催しを再開しております。今回は、新しい生活様式の中での文化財の公開・活用についてご紹介いたします。

### おうちで文化財

#### ●さいたま考古マスター

3月に各学校が休校となったことを受け、さいたま市ではホームページにて子ども向けの様々なコンテンツを公開しました。

文化財保護課では、「めざせ！さいたま考古マスター！」と題し、クイズ形式でさいたま市の歴史を学ぶページを公開しました。

みなさまもぜひさいたま考古はかせの難問・奇問に挑戦してみてください。



▲ホームページはこちら

 第1回 これなんだ？ (令和2年3月18日公開)	 第2回 復習編 (4月19日公開)	 第3回 宿題答えあわせ (5月1日公開)	 第4回 なにしてる？ (5月15日公開)
 第5回 さいたま戦国のおわり編 (7月10日公開)	 第6回 さいたまの船（前編） (8月12日公開)	 第7回 さいたまの船（後編） (12月15日公開)	 第8回 めざせ！さいたま考古マスター！ さいたまの顔（予定） おたのしみに

▲さいたま考古マスター

### クイズにチャレンジ！

Q とごろをまいた  
なぞの物体。→  
これなんだ？



ヒント：ひらがな3文字です。

正解と解説は3ページ！

## 史跡に GO !

### ●見沼通船堀閘門開閉実演の動画

国指定史跡「見沼通船堀」では、8月に閘門開閉実演を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。みなさまに貴重な地域の文化財を知っていただくため、今年度は閘門開閉による水位調整の様子を撮影し、WEB上で動画の配信を開始いたしました。この機会にぜひご覧ください。



▲ホームページはこちら



▲閘門開閉による水位調整の様子

### ●見沼通船堀現地見学会

上記の動画公開のほか、11月23日には見沼通船堀現地見学会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、定員を各回25人とし、参加者にはマスク着用等をお願いして実施しました。

当日は見沼通船堀公園に集合し、見沼通船堀西縁から鈴木家住宅附属建物、見沼通船堀東縁にかけて巡りました。小学生を含む家族での参加者もあり、学校で学習する見沼通船堀について熱心に見ていただきました。



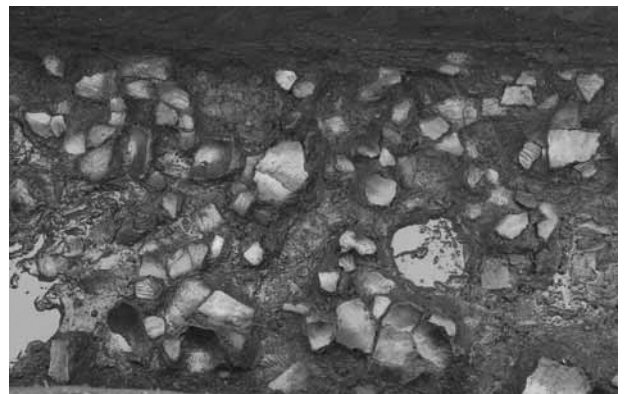
▲見沼通船堀現地見学会

### ●真福寺貝塚調査最前線

国指定史跡「真福寺貝塚」では、平成28年度から、史跡の整備を見据えた発掘調査を行っています。発掘調査の成果をみなさまに広くご覧いただくため、さいたま市ホームページにて調査の様子を紹介しています。発掘現場の写真や、発掘調査概報、現地見学会の資料などを公開しています。最新の調査成果は、本誌の次号でも紹介いたします。



▲ホームページはこちら



▲真福寺貝塚での土器出土状況の様子

### ●真福寺貝塚体験発掘

国指定史跡「真福寺貝塚」にて、11月11日に、柏崎小学校の6年生が体験発掘を行いました。

手袋や手指の消毒など、新型コロナウイルス対策をしながらの体験発掘となりました。児童たちは熱心に発掘に取り組み、貝殻や土器片、動物の骨などを次々と発見しました。何人もの児童が、自分が見つけたものを職員に質問し、学びを深めていました。保護者の方々の見学も多く、児童の活動や実際の発掘調査現場をご覧いただく貴重な機会となりました。



▲体験発掘の様子

## 無形文化財・無形民俗文化財の公開

### ●さいたま伝統芸能普及フェスティバル

令和2年11月22日、プラザイーストにて、さいたま市文化振興事業団主催の「さいたま伝統芸能普及フェスティバル」が行われました。その中で、市指定文化財の「木遣歌」、「駒形の祭ばやし」が披露されました。どちらも久々の公開の機会となりました。



▲木遣歌



▲駒形の祭ばやし

## 埼玉記念物100年

### ●埼玉県立自然の博物館

#### 令和2年度特別展 埼玉記念物100年

#### —埼玉の天然記念物ってどう思いますか？—

天然記念物を保護する制度ができてから100年の節目を迎えました。埼玉県立自然の博物館で開催されている特別展では、さいたま市の国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」が紹介されています。サクラソウのレプリカが展示されているほか、県内各地の天然記念物が写真や標本などを用いて展示されています。特別展は、令和3年2月28日(日)まで開催されています。



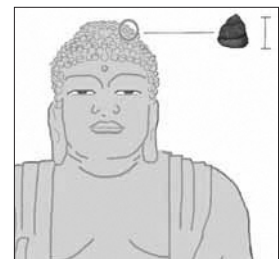
▲埼玉記念物100年チラシ

### 表紙のクイズの答え：らほつ(螺髪) / 桜区・宿宮前遺跡出土、平安時代

**解説：** 仏像の頭髪です。悟りを開いた仏の頭髪はうすを巻いているとされ、巻貝（「螺・ら」）のような髪（この場合は「ほつ」と読みます）であることから、「らほつ」と呼ばれています。このらほつは、粘土で作られています。仏像をまつるお寺が火事になったため、粘土が焼けて土器のようになっています。下には細い穴があいていて、串のような細い棒で、仏像の頭に一つ一つ取り付けたと考えられます。

桜区大字宿のあたりには、1200年前くらいには大きなお寺があったこと、そのお寺が火事にあったこと。この小さならほつからは、そんな歴史の断片を知ることができます。

そんな大事な歴史の証人、しかもありがたい仏様の頭を飾る髪の毛！まさか、「う」で始まる3文字のものだなんて、思わなかったよね？



★ほかにも考古はかせのクイズがあります！ホームページを見てぜひ挑戦してみてください！

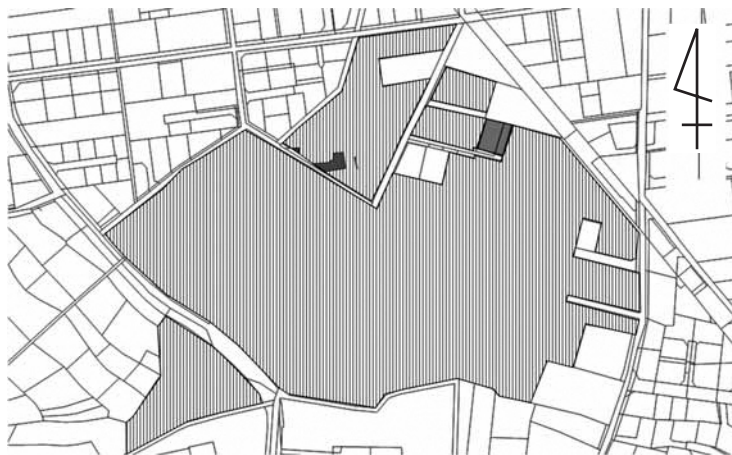


## お知らせ

### □国指定史跡真福寺貝塚の追加指定

真福寺貝塚は岩槻区真福寺・城南2丁目・同3丁目に所在し、昭和50年に国の史跡に指定されました。

その後、指定地外にあり、重要な部分と判断された場所について、順次追加指定を行っています。平成2年、平成14年、平成28年、平成29年、平成30年、令和元年に続き、令和2年10月6日付で、5筆(約247㎡)が追加指定を受けました。今後も重要と判断された部分について、追加指定を行っていく予定です。



▲真福寺貝塚指定地図面  
※塗りつぶし部分が今回の追加指定地です。  
縦線の部分は昨年までに指定された場所です。

### □国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」で草焼きを施します

田島ヶ原サクラソウ自生地では、毎年1月にオギやヨシ等の枯草を焼却する草焼きを実施しています。枯草を焼くことによって地面に陽光があたり、サクラソウの芽吹きを助けます。

令和3年は、下記の日程で実施します。

**実施日**：令和3年1月13日(水)【予定】

**時間**：9時頃から16時頃まで

※天候等により、翌日以降へ延期となる場合があります。

※実施中に天候が変化した場合、中断して翌日以降に再実施することがあります。

**見学について**：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、発熱等の症状のある方は見学をお控えください。お越しの際は、マスクの着用、咳エチケット、人との距離の確保等の感染症対策をお願いいたします。



▲昨年の草焼きの様子

さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第79号

令和2年12月25日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課  
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号  
☎048-829-1723 048-829-1989  
<https://www.city.saitama.jp/>